

大学番号：076

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：意見伺い

注1

意見伺い

長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 長崎大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名・職名・氏名

総務部総務企画課企画班主査（企画） クサムラ トシアキ 草村 俊昭

熱帯医学・グローバルヘルス研究科事務室主査 コメダ マサノリ 米田 征徳

電話番号 095-819-2014

F A X 095-819-2024

e-mail soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

熱帯医学・グローバルヘルス研究科

<グローバルヘルス専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	31

林山
公一

岡本
真弘

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 長崎大学

(2) 大学名

長崎大学

(3) 大学の位置

〒852-8523

長崎県長崎市坂本1丁目12番4号 (長崎県長崎市文教町1番14号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	山城 哲	備考
学長	(カタミネ シゲル) 片峰 茂 (平成20年10月)	門司 和彦 仲谷 保彦 山田 章子	
理事	(ヤマシタ シュンイチ) 山下 俊一 (平成25年4月)	中込 浩 卜川 切 百柳 深	
研究科長	(キタ キヨシ) 北 潔 (平成27年4月)	則田 隆浩 則村 浩一 柳原 克紀	
		糸内 浩幸 出井 克之 四出 教行	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

一瀬 休生

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-)	[8] 0 31	[-] (-)	[-]	[-]	[-]	10月入学のみとなるため、平成28年度在学学生はなし
2年次	/		[-] (-)				
3年次	/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	[8] 0 31		[-]		[-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	31 人	0 人	平成27年度	人	人		0 %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	- 人	0 人	平成28年度	人	人		- %
合 計	31 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

門
司
和
彦

神
谷
保
彦

2 授業科目の概要

＜熱帯医学・グローバルヘルス研究科 熱帯医学コース＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	基礎人間生物学	1秋			1	1						山城 哲教授 他機関異動 履修順序の再検討により 配当年度を変更 (28)
	熱帯医学基礎 I	1秋 1春			2	7						
	熱帯医学基礎 II	1秋	2			3						
	グローバルヘルス I	1秋	2			1						
	グローバルヘルス II	1秋	1			1						
	地球環境・衛生学	1秋	2			2					兼 1	
専門基礎科目	疫学 I	1秋	2			2 4						兼 1 より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加 (28) 担当 Sharon Elizabeth Cox (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	統計学 I	1秋	2			2 4						兼 1 より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加 (28) 担当 Sharon Elizabeth Cox (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	研究倫理	1秋	1			1					兼 1	
応用科目	病原微生物学 I	1春	1			2						兼 3 より充実した講義内容を提供 するため、兼任教員を追加 (28) 履修順序の再検討により 配当年度を変更 (28) 履修順序の再検討により 配当年度を変更 (28) 履修順序の再検討により 1 配当年度を変更 (28) 兼 2 より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加 (28) ※兼任教員が専任教員となった。 担当 福岡 順也 (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	病原微生物学 II	1春	2			2						
	病原微生物学 III	1春	2			3						
	免疫学	1秋 1春	1			2				Christ Sharon Elizab		
	バイオテクノロジー	1秋 1春	1			1						
	病理学	1秋 1春	1			2 4				Bhim Gopal		
臨床熱帯医学 (臓器別)	1春 1夏	2			7 6					順也 久和	兼 1 履修順序の再検討により 配当年度を変更 (28) より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加 (28) 担当 Christopher Martin Parry (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可	
												兼 1 春樹

応 用 科 目	臨床熱帯医学（地域別）	1春 1夏	1			2 +	一英 正仁		1	履修順序の再検討により 配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Christopher Martin Parry（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可 担当 Bhim Gopal Dhouhadel（助教） 平成27年11月 教員審査済 判定 可	
	疫学Ⅱ	1春 1夏	1			2 +			兼 1	履修順序の再検討及びロンドン大学疫学 チームの来日日程により配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可	
	統計学Ⅱ	1春 1夏	1			2 +				履修順序の再検討及びロンドン大学疫学 チームの来日日程により配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可	
	衛生動物学	1春 1夏	2			2			兼 4	履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）	
	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダーⅠ	1冬	1	1		1	1		1		
	小児保健Ⅰ	1冬		1		2					
	地域保健Ⅰ	1冬		1		2					
	小児保健Ⅱ	1夏 1春		1		2					履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダーⅡ	1春		1		1	1		1		
	栄養	1冬 1夏		1		2 +					履修順序の再検討により 配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	地域保健Ⅱ	1冬 1夏		1			1				履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	緊急援助Ⅰ	1春 1夏		1		1					履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	緊急援助Ⅱ	1春		1		1				兼 1	
	ヘルス・プロモーションⅠ	1冬		1		1				兼 2	
	医療人類学Ⅰ（概論）	1冬		1			1				
社会調査（量的）	1冬		1						兼 1		

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
20	27	2	49	20	27	2	49	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

2 授業科目の概要

<熱帯医学・グローバルヘルス研究科 国際健康開発コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	基礎人間生物学	1秋		1		1						
	熱帯医学基礎Ⅰ	1秋 1春	2			6						山城 哲教授 他機関異動 履修順序の再検討により 配当年度を変更(28)
	熱帯医学基礎Ⅱ	1秋		2		7						
	グローバルヘルスⅠ	1秋	2			3						
	グローバルヘルスⅡ	1秋	1			1						
	地球環境・衛生学	1秋	2			2					兼 1	
専門基礎科目	疫学Ⅰ	1秋	2			2					兼 1	
	統計学Ⅰ	1秋	2			4					兼 1	
	研究倫理	1秋	1			2					兼 1	
応用科目	病原微生物学Ⅰ	1春		1		2						兼 3 より充実した講義内容を提供 するため、兼任教員を追加(28) 履修順序の再検討により 配当年度を変更(28) 履修順序の再検討により 配当年度を変更(28) 履修順序の再検討により 1 配当年度を変更(28) 兼 2 より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加(28) ※兼任教員が専任教員となった。 担当 福岡 順也(教授) 平成27年7月 教員審査済 判定可
	病原微生物学Ⅱ	1春		2		2						
	病原微生物学Ⅲ	1春		2		3						
	免疫学	1秋 1春		1		2	Christ Sharon Elizab					
	バイオテクノロジー	1秋 1春		1		1						
	病理学	1秋 1春		1		2	Bhim Gopal					
臨床熱帯医学(臓器別)	1春 1夏		2		7		順也 久和				兼 1	
												1 春樹

応 用 科 目	臨床熱帯医学（地域別）	1春 1夏	1	2 +	一英 正仁	1	履修順序の再検討により 配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Christopher Martin Parry（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可 担当 Bhim Gopal Dhouhadel（助教） 平成27年11月 教員審査済 判定 可
	疫学Ⅱ	1春 1夏	1	2 +		兼 1	履修順序の再検討及びロンドン大学疫学 チームの来日日程により配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	統計学Ⅱ	1春 1夏	1	2 +			履修順序の再検討及びロンドン大学疫学 チームの来日日程により配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	衛生動物学	1春 1夏	2	2		兼 4	履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダーⅠ	1冬	1	1	1	1	
	小児保健Ⅰ	1冬	1	2			
	地域保健Ⅰ	1冬	1	2			
	小児保健Ⅱ	1夏 1春	1	2			履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダーⅡ	1春	1	1	1	1	
	栄養	1冬 1夏	1	2 +			履修順序の再検討により 配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	地域保健Ⅱ	1冬 1夏	1	1	1		履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	緊急援助Ⅰ	1春 1夏	1	1			履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	緊急援助Ⅱ	1春	1	1			兼 1
	ヘルス・プロモーションⅠ	1冬	1	1			兼 2
	医療人類学Ⅰ（概論）	1冬	1		1		
社会調査（量的）	1冬	1				兼 1	

演習科目及び 研究指導	グローバルヘルス演習Ⅱ	2通	1		28 26	5 4	2 1		より充実した研究指導体制を構築 するため、教員を追加(28) 担当 Christopher Martin Parry (教授) 担当 Sharon Elizabeth Cox (教授) 担当 福岡 順也 (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 マル合 担当 平岡 久和 (准教授) 担当 Bhim Gopal Dhoubhadel (助教) 平成27年11月 教員審査済 判定 マル合 山城 哲教授 他機関異動

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	31	0	52	21	31	0	52	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

2 授業科目の概要

<熱帯医学・グローバルヘルス研究科 ヘルスイノベーションコース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	基礎人間生物学	1秋		1		1							
	熱帯医学基礎Ⅰ	1秋 1春	2			6						山城 哲教授 他機関異動 履修順序の再検討により 配当年度を変更(28)	
	熱帯医学基礎Ⅱ	1秋	2			7							
	グローバルヘルスⅠ	1秋	2			3							
	グローバルヘルスⅡ	1秋	1			1							
	地球環境・衛生学	1秋	2			2							
											兼 1		
専門基礎科目	疫学Ⅰ	1秋	2			2						兼 1 より充実した講義内容を提供するため、教員を追加(28) 担当 Sharon Elizabeth Cox (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定可	
	統計学Ⅰ	1秋	2			4							兼 1 より充実した講義内容を提供するため、教員を追加(28) 担当 Sharon Elizabeth Cox (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定可
	研究倫理	1秋	1			2							兼 1
応用科目	病原微生物学Ⅰ	1春		1		2						兼 3 より充実した講義内容を提供するため、兼任教員を追加(28) 履修順序の再検討により 配当年度を変更(28) 履修順序の再検討により 配当年度を変更(28) 履修順序の再検討により 配当年度を変更(28) 兼 2 より充実した講義内容を提供するため、教員を追加(28) ※兼任教員が専任教員となった。 担当 福岡 順也(教授) 平成27年7月 教員審査済 判定可	
	病原微生物学Ⅱ	1春		2		2							
	病原微生物学Ⅲ	1春		2		3							
	免疫学	1秋 1春		1		2							
	バイオテクノロジー	1秋 1春		1		1				Christ Sharon Elizab			
	病理学	1秋 1春		1		2				Bhim Gopal			
												順也 久和	
	臨床熱帯医学(臓器別)	1春 1夏		2		7						兼 1 履修順序の再検討により 配当年度を変更(28) より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加(28) 担当 Christopher Martin Parry (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定可	
						6						一 春樹	

応 用 科 目	臨床熱帯医学（地域別）	1春 1夏	1	2 +	一英 正仁	1	履修順序の再検討により 配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Christopher Martin Parry（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可 担当 Bhim Gopal Dhouhadel（助教） 平成27年11月 教員審査済 判定 可
	疫学Ⅱ	1春 1夏	1	2 +		兼 1	履修順序の再検討及びロンドン大学疫学 チームの来日日程により配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	統計学Ⅱ	1春 1夏	1	2 +			履修順序の再検討及びロンドン大学疫学 チームの来日日程により配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	衛生動物学	1春 1夏	2	2		兼 4	履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダーⅠ	1冬	1	1	1	1	
	小児保健Ⅰ	1冬	1	2			
	地域保健Ⅰ	1冬	1	2			
	小児保健Ⅱ	1夏 1春	1	2			履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダーⅡ	1春	1	1	1	1	
	栄養	1冬 1夏	1	2 +			履修順序の再検討により 配当年度を変更（28） より充実した講義内容を提供 するため、教員を追加（28） 担当 Sharon Elizabeth Cox（教授） 平成27年7月 教員審査済 判定 可
	地域保健Ⅱ	1冬 1夏	1		1		履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	緊急援助Ⅰ	1春 1夏	1	1			履修順序の再検討により 配当年度を変更（28）
	緊急援助Ⅱ	1春	1	1		兼 1	
	ヘルス・プロモーションⅠ	1冬	1	1		兼 2	
	医療人類学Ⅰ（概論）	1冬	1		1		
社会調査（量的）	1冬	1			兼 1		

演習科目及び 研究指導	グローバルヘルス演習Ⅱ	2通	1			28 26	5 4		2 1		より充実した研究指導体制を構築 するため、教員を追加(28) 担当 Christopher Martin Parry (教授) 担当 Sharon Elizabeth Cox (教授) 担当 福岡 順也 (教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 マル合 担当 平岡 久和 (准教授) 担当 Bhim Gopal Dhoubhadel (助教) 平成27年11月 教員審査済 判定 マル合 山城 哲教授 他機関異動
	ヘルスイノベーションゼミⅠ	1通	2			5					
	ヘルスイノベーションゼミⅡ	2通	4			5					

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
13	40	0	53	13	40	0	53	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	平山 謙一 金子 聡 山本 太郎 宮川 昇 山口 社也	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} \text{ 奥村 順子} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

佐藤 美穂

一瀬 休生

高村 昇

本田 純久

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他の内、借用面積47㎡を含み、昭和40年4月1日より借入。 2団地において土地面積増減があった為、修正(28)		
	校舎敷地	280,586㎡ 278,148㎡	0㎡	0㎡	280,586㎡ 278,148㎡			
	運動場用地	100,475㎡ 101,030㎡	12,796㎡ 12,748㎡	0㎡	113,271㎡ 113,778㎡			
	小 計	381,061㎡ 379,178㎡	12,796㎡ 12,748㎡	0㎡	393,857㎡ 391,926㎡			
	そ の 他	157,771㎡ 163,621㎡	107,490㎡ 107,538㎡	0㎡	265,261㎡ 271,159㎡			
	合 計	538,832㎡ 542,799㎡	120,286㎡	0㎡	659,118㎡ 663,085㎡			
(2) 校 舎	専 用	187,914㎡ 189,982㎡	0㎡	0㎡	187,914㎡ 189,982㎡	用途変更があった為、修正(28)		
	(187,914㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(187,914㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	101室 95室	演 習 室 205室 227室	実験実習室 525室 502室	情報処理学習施設 20室 26室 (補助職員 人)	語学学習施設 3室 6室 (補助職員 人)	大学全体 用途変更があった為、修正(28)	
	新設学部等の名称 熱帯医学・グローバルヘルス研究科			室 数 34 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(大学全体の共用分) 図書 1,015,008[295,129] (1,015,008[295,129]) +1,041,000[306,000] -1,010,220[294,450] =1,045,788[306,579] 視聴覚資料 5,960 (5,960) 6,200-(6,002) =298 平成28年5月1日現在の数値に変更(28)
	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	1,015,008[295,129] +1,041,000[306,000] (1,015,008[295,129]) -1,010,220[294,450]	26,526[7,731] 24,000[7,000] (26,526[7,731]) -(24,000[7,000])	17,827[16,291] 21,000[19,000] (17,827[16,291]) -(21,000[19,000])	5,960 6,200 (5,960) -(6,002)	800 (784)	2,221 (2,021)	
	計	1,015,008[295,129] +1,041,000[306,000] (1,015,008[295,129]) -1,010,220[294,450]	26,526[7,731] 24,000[7,000] (26,526[7,731]) -(24,000[7,000])	17,827[16,291] 21,000[19,000] (17,827[16,291]) -(21,000[19,000])	5,960 6,200 (5,960) -(6,002)	800 (784)	2,221 (2,021)	
(6) 図 書 館	面 積	10,735㎡ 10,702㎡	閱 覧 座 席 数	1,273 席 1,271 席	収 納 可 能 冊 数	964,417 冊 965,000 冊	大学全体	
	面 積	12,541㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 運動場、弓道場、テニスコート、ハンドボールコート、プール等				大学全体	
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	} 国費による
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
千円		千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍			
多文化社会学部 多文化社会学科	4	100	—	300	学士(多文化社会学)	0.93	平成26年度	長崎市文教町1-14	
教育学部 学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.01	平成10年度	長崎市文教町1-14	
経済学部 総合経済学科 昼間コース 夜間主コース	4 4	265 60	公一 安田修 真二郎 謙二 聰	1,170 250	学士(経済学) "	1.03 1.02	平成10年度 "	長崎市片淵4-2-1 "	
医学部 医学科 保健学科	6 4	118 106	山本 皆川紅也 真弘 Laotna vorn 哲 和彦 保彦 松山 中込 功	723 452	学士(医学) 学士(看護学) 学士(保健学)	1.00 1.00	昭和24年度 平成14年度	長崎市坂本1-12-4 長崎市坂本1-7-1	
歯学部 歯学科	6	50	潔 前田 前村	300	学士(歯学)	1.00	昭和55年度	長崎市坂本1-7-1	
薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	克紀 浩幸 克之 西田 小澤 公一	245 246	学士(薬学) 学士(薬科学)	1.02 1.04	平成18年度 昭和61年度	長崎市文教町1-14 "	
工学部 工学科 機械システム工学科 電気電子工学科 情報システム工学科 構造工学科 社会開発工学科 材料工学科 応用化学科 各学科共通	4 4 4 4 4 4 4 4 —	380 — — — — — — — —	— — 順子 三明 研 健 美穂 — 休生 昇 本田 福岡 久和	1,520 — — — — — — — —	学士(工学) " " " " " " " "	1.04 — — — — — — — —	平成23年度 平成2年度 平成10年度 " 昭和42年度 平成3年度 昭和45年度 平成3年度 平成18年度	長崎市文教町1-14 " " " " " " " "	平成23年度より 学生募集停止 (各学科共通の 編入学定員は、 学年進行に伴い 平成25年度より 学生募集停止)
環境科学部 環境科学科	4	130	Umiaki Collie 松村 川田 —	540	学士(環境科学)	1.03	平成10年度	長崎市文教町1-14	
水産学部 水産学科	4	110	英輝 基	440	学士(水産学)	1.03	昭和48年度	長崎市文教町1-14	

【研究科】			俊彦 由起子						
教育学研究科 (修士課程) 教科実践専攻 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2 2	— 38	— Noen Dector 伸子 小林 神谷	— 76	修士(教育学) 教職修士(専門職)	— 0.82	平成20年度 平成26年度	長崎市文教町1-14 長崎市文教町1-14	教科実践専攻は、平成26年度より学生募集停止
経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻 (博士後期課程) 経営意思決定専攻	2 3	15 3	— Walson	30 9	修士(経済学) 修士(経営学) 博士(経営学)	0.86 1.11	平成16年度 平成16年度	長崎市片淵4-2-1 長崎市片淵4-2-1	
工学研究科 (博士前期課程) 総合工学専攻 (博士後期課程) 生産システム工学専攻 (博士課程) グリーンシステム創成科学専攻	2 3 5	220 15 5	— — —	440 40 25	修士(工学) 博士(工学) 博士(工学)	0.96 1.22 0.92	平成23年度 平成23年度 平成23年度	長崎市文教町1-14 長崎市文教町1-14 長崎市文教町1-14	
水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程) 水産学専攻 環境科学専攻 環境共生政策学専攻 環境保全設計学専攻 (博士後期課程) 環境海洋資源学専攻 (博士課程) 海洋フィールド生命科学専攻	2 2 2 2 3 5	35 25 — — 12 5	— — — — — —	70 50 — — 36 25	修士(学術) 修士(水産学) 修士(学術) 修士(環境科学) 博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	1.10 0.76 — — 0.99 0.56	平成23年度 平成27年度 平成23年度 平成23年度 平成23年度 平成23年度	長崎市文教町1-14 " " " 長崎市文教町1-14 長崎市文教町1-14	環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻は平成27年度より学生募集停止
生産科学研究科 (博士後期課程) システム科学専攻 海洋生産科学専攻 環境科学専攻	3 3 3	— — —	— — —	— — —	博士(学術) 博士(工学) 博士(水産学) 博士(環境科学) " "	— — —	平成12年度 平成13年度 平成16年度	長崎市文教町1-14 " "	システム科学専攻、海洋生産科学専攻、環境科学専攻は、平成23年度より学生募集停止

医歯薬学総合研究科 (修士課程)									
熱帯医学専攻	1	—	—	—	修士(熱帯医学)	—	平成18年度	長崎市坂本1-12-4	熱帯医学専攻は平成27年度より学生募集停止
保健学専攻	2	20	—	40	修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.03	平成18年度	長崎市坂本1-7-1	
災害・被災く医療科学 共同専攻	2	10	—	10	修士(看護学) 修士(医科学)	1.00	平成28年度		
(博士課程)									
医療科学専攻	4	60	—	246	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.95	平成14年度	長崎市坂本1-12-4	
新興感染症病態制御学系専攻	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.81	平成14年度	〃	
放射線医療科学専攻	4	5	—	29	博士(医学)	0.68	平成14年度	〃	
先進予防医学共同専攻	4	10	—	10	博士(医学)	0.90	平成28年度		
(博士前期課程)									
生命薬科学専攻	2	36	—	72	修士(薬科学)	0.89	平成24年度	長崎市文教町1-14	
(博士後期課程)									
生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士(学術) 博士(薬科学)	1.00	平成24年度	長崎市文教町1-14	
国際健康開発研究科 (修士課程)									
国際健康開発専攻	2	—	—	—	修士(公衆衛生学)	—	平成20年度	長崎市坂本1-12-4	国際健康開発専攻は平成27年度より学生募集停止
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (修士課程)									
グローバルヘルス専攻		27	—	27		1.14	平成27年度	長崎市坂本1-12-4	平成27年10月より学生受入
熱帯医学コース	1				修士(熱帯医学)				
国際健康開発コース	2				修士(公衆衛生学)				
ヘルスイノベーションコース	2				修士(医科学)				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻（修士課程） >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	森田 公一	平成27年4月	熱帯医学基礎Ⅰ 病原微生物学Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	安田 二郎	平成27年4月	熱帯医学基礎Ⅰ 病原微生物学Ⅰ グローバルヘルスセミナー グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	金子 修	平成27年4月	熱帯医学基礎Ⅰ 熱帯医学基礎Ⅱ 病原微生物学Ⅱ グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	濱野 真二郎	平成27年4月	熱帯医学基礎Ⅰ 熱帯医学基礎Ⅱ 病原微生物学Ⅱ グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	平山 謙二	平成27年4月	免疫学 バイオテクノロジー グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	金子 聡	平成27年4月	社会起業論 グローバルヘルスセミナー ヘルスイノベーションゼミⅠ ヘルスイノベーションゼミⅡ グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	山本 太郎	平成27年4月	保健制度・政策Ⅱ 援助論Ⅱ グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	皆川 昇	平成27年4月	地球環境・衛生学 衛生動物学 グローバルヘルスセミナー ヘルスイノベーションゼミⅠ ヘルスイノベーションゼミⅡ グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	有吉 紅也	平成27年4月	熱帯医学基礎Ⅰ 熱帯医学基礎Ⅱ 病原微生物学Ⅲ 臨床熱帯医学(臓器別) 臨床熱帯医学(地域別) グローバルヘルスセミナー ヘルスイノベーションゼミⅠ ヘルスイノベーションゼミⅡ グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	橋爪 真弘	平成27年4月	地球環境・衛生学 疫学Ⅰ 統計学Ⅰ 疫学Ⅱ 統計学Ⅱ 衛生動物学 グローバルヘルスセミナー ヘルスイノベーションゼミⅠ ヘルスイノベーションゼミⅡ グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						
専任	教授	Laothavorn Juntra	平成27年4月	研究倫理 グローバルヘルス演習Ⅰ グローバルヘルス演習Ⅱ						

専任	教授	山城 哲	平成27年4月	熱帯医学基礎 I グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							平成28年4月 山城教授、他機関異動により専任教員辞退 「後任未定」平成28年10月から兼担教員により実施予定 熱帯医学基礎 I は他に担当の専任教員が6名、グローバルヘルス演習 I 及びグローバルヘルス演習 II は他に担当の専任教員が34名いるため支障はない。
専任	教授	門司 和彦	平成27年4月	グローバルヘルス II 栄養 ヘルス・プロモーション I ヘルス・プロモーション II 保健制度・政策 I 社会起業論 グローバルヘルスセミナー ヘルスイノベーションゼミ I ヘルスイノベーションゼミ II グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	神谷 保彦	平成27年4月	基礎人間生物学 グローバルヘルス I 小児保健 I 地域保健 I 小児保健 II 緊急援助 I 緊急援助 II 短期フィールド研修 長期海外研修 グローバルヘルスセミナー グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	松山(高木) 章子	平成27年4月	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダー I リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダー II 社会調査(質的) 国際保健研究への社会科学的アプローチ グローバルヘルスセミナー グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	中込 治	平成27年4月	熱帯医学基礎 I グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	下川 功	平成27年4月	病理学 グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	青柳 潔	平成27年4月	グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	前田 隆浩	平成27年4月	臨床熱帯医学(臓器別) 地域保健 I グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	前村 浩二	平成27年4月	臨床熱帯医学(臓器別) グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	柳原 克紀	平成27年4月	臨床熱帯医学(臓器別) グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	森内 浩幸	平成27年4月	臨床熱帯医学(臓器別) 小児保健 I 小児保健 II グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	由井 克之	平成27年4月	免疫学 グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	西田 教行	平成27年4月	病原微生物学 III グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	小澤 寛樹	平成27年4月	グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							
専任	教授	泉川 公一	平成27年4月	病原微生物学 III 臨床熱帯医学(臓器別) グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II							

								専任 教授	Christopher Martin Parry	平成27年8月	臨床熱帯医学(臓器別) 臨床熱帯医学(地域別) グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II	教育課程の充実を図るため 専任教員を追加 平成27年8月 AC教員審査済(27)
								専任 教授	Sharon Elizabeth Cox	平成27年8月	疫学 I 疫学 II 統計学 I 統計学 II 栄養 グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II	教育課程の充実を図るため 専任教員を追加 平成27年8月 AC教員審査済(27)
専任	准教授	奥村 順子	平成27年4月	地域保健 II グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II								
専任	准教授	松井 三明	平成27年4月	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダー I リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダー II プロジェクト・プログラム管理 I プロジェクト・プログラム管理 II グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II								
専任	准教授	増田 研	平成27年4月	医療人類学 I(概論) 医療人類学 II(応用) 社会起業論 グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II								
専任	准教授	工藤 健	平成27年4月	医療経済 保健財政 社会起業論 グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II								
専任	助教	佐藤 美穂	平成27年4月	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダー I リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダー II 短期フィールド研修 グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II								
								専任 助教	Bhim Gopal Dhoubhadel	平成27年12月	臨床熱帯医学(地域別) グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II	教育課程の充実を図るため 専任教員を追加 平成27年12月 AC教員審査済(27)
兼任	教授	一瀬 休生	平成27年4月	臨床熱帯医学(臓器別)								
兼任	教授	高村 昇	平成27年4月	地球環境・衛生学 衛生動物学								
兼任	教授	本田 純久	平成27年4月	統計学 I								
兼任	教授	福岡 順也	平成27年4月	病理学				専任 教授	福岡 順也	平成27年8月	病理学	平成27年8月 AC教員審査済(27)
兼任	准教授	平岡 久和	平成27年6月	援助論 I				専任 准教授	平岡 久和	平成27年12月	援助論 I 援助論 II グローバルヘルス演習 I グローバルヘルス演習 II	平成27年12月 AC教員審査済(27)
兼任	教授	Umali Celia Lopez	平成27年4月	開発と経済								
兼任	准教授	松村 真樹	平成27年4月	社会調査(量的) 人口学								
兼任	准教授	川田 均	平成27年4月	衛生動物学								
兼任	講師	森 亮一	平成27年4月	病理学								
兼任	准教授	福田 英輝	平成27年4月	ヘルス・プロモーション I ヘルス・プロモーション II								
兼任	助教	鈴木 基	平成27年4月	疫学 I 疫学 II								
兼任	助教	砂原 俊彦	平成27年4月	衛生動物学								
兼任	助教	比嘉 由起子	平成27年4月	衛生動物学								

					兼任	講師	上村 春樹	平成27年12月	病原微生物学Ⅱ	教育課程の充実を図るため 兼任教員を追加
					兼任	助教	矢幡 一英	平成27年12月	病原微生物学Ⅱ	教育課程の充実を図るため 兼任教員を追加
					兼任	助教	麻田 正仁	平成27年12月	病原微生物学Ⅱ	教育課程の充実を図るため 兼任教員を追加
兼任	講師	Koen Peeters Grietens	平成27年4月	研究倫理 国際保健研究への社会科学的ア プローチ						
兼任	講師	黒崎 伸子	平成27年4月	緊急援助Ⅱ						
兼任	講師	小林 潤	平成27年4月	ヘルス・プロモーションⅠ ヘルス・プロモーションⅡ						
兼任	講師	神谷 祐介	平成27年4月	医療経済						
兼任	講師	Judd Walson	平成27年4月	社会起業論						

- (注)
- ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
26	4	0	1	31	28	5	0	2	35	29	5	0	3	37
(26)	(4)	(0)	(1)	(31)						[+3]	[+1]	[]	[+2]	[+6]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
31	0	0			35	0	0			37	0	0		
(31)	(0)	(0)								[+6]	[]	[]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	1

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計

↑
昇

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

中込 治

・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	山城 哲	必修	熱帯医学基礎Ⅰ	③	他機関へ異動したため就任辞退 (28)	
			必修	グローバルヘルス演習Ⅰ	①		
			必修	グローバルヘルス演習Ⅱ	①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1 人	必修	3	科目	必修	0	科目	必修
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由
	計	3	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

福田 英輝

・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

↑
上
昇

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1 人	必修	3	科目	必修	0	科目	必修
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由
	計	3	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今回、異動により専任を辞退することとなった教員（教授）の担当科目（3科目）について、研究指導科目（2科目）については、既に学生1名の指導教員となっていたが、当該学生については別の指導教員（マル合）に指導を受けることとなった。また、講義科目（1科目）については、本教員は科目責任者でなく、担当する講義も15コマのうち1コマであり、他に6名の担当教員（講義担当可の教員）がおり支障はないものと考えている。

また、学生への周知については、本教員の指導を受けいていた学生については個別に連絡し説明したが、既に講義科目は開講済みで成績判定もされていたため、他の学生については特に周知は行っていない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時 (27年5月)</p>	<p>ヘルスイノベーションコースにおける学位名称について、教育課程を踏まえると、「修士（医科学）」で妥当であるが、英文表記は日本語表記を適切に表していると見受けられない、整合性を図る観点から、例えば英文表記を「Master of Medical Science」といった表記に改めること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>設置時において、本コースにおける学位の英文表記は、ヘルスイノベーションがグローバルヘルス領域において熱帯医学と公衆衛生学を補完する分野と考えていることから「Master of Science in Global Health」としていた。今回の留意事項としての意見をを受け、議論を重ねた結果、国際通用性（特に連携するロンドン大学衛生・熱帯医学大学院の学位表記方法（Master of Science in ○○）と同一とする）及び日本語表記（修士（医科学））との整合性を図る観点から、より教育課程の内容に合致した英文表記として「Master of Science in Global Health and Medicine」に変更するものとする。（27）</p>	<p>無し</p>
<p>設 置 時 (27年5月)</p>	<p>研究科及び専攻の名称について、特色ある人材を養成する教育内容となっていることをより明確にするため、また学生に対して分かりやすく説明する観点から、研究科、専攻、コースの関係性をより明確にすることが必要であり、専攻名を例えば、「熱帯医学・グローバルヘルス専攻」と研究科の名称と同一にすることを含め、検討することが望ましい。</p>	<p>その他意見</p>	<p>グローバルヘルスは、従来の国際保健（International Health）や公衆衛生学（Public Health）に比べ、より広い学際性が求められる学問領域であり、本研究科の履修コースとなる、熱帯医学、国際健康開発、ヘルスイノベーションの各分野もこの中に包括されるものであると考えており、「専攻」名称は、特定の学問領域（専攻分野）を表すという観点から、前述のとおり、「熱帯医学」はグローバルヘルスの領域に包括されるものであるため、「熱帯医学」は付さず、「グローバルヘルス専攻」としたいと考える。ただし、研究科名称については、長崎大学には、熱帯医学に関する国内唯一の大学附置研究所である熱帯医学研究所を擁する長い歴史があり、その教育・研究の実績から考え、「熱帯医学を基礎としたグローバルヘルス」を展開するという立場を明確にすること及び本学の思いとして、本学の強みである臨床・医科学研究領域のうち、特に熱帯医学分野を学べることが本研究科の特色の一つであることを強調するため「熱帯医学・グローバルヘルス研究科」としたいと考える。</p> <p>また、入学する学生からの視点としても、現在の長崎大学医学部学生の中には、熱帯医学研究所があるため長崎大学に来たという学生が多くいることから、「熱帯医学」は魅力的であると考えられること及び本学は、アジア、アフリカに研究拠点を有しているため、既設の熱帯医学専攻においては当該地域から熱帯医学を学ぶ留学生を多数受け入</p>	<p>有吉 紅也</p>

			れている実績があり、「熱帯医学」を学ぶことのできる研究科であることを明確にすることが、留学生確保の観点からも妥当であると考えため、研究科・専攻・コースの各名称は妥当であると考える。(27)	Umali Celia Lopez
設置時 (27年5月)	<p>医療系のバックグラウンドを有していない学生に対する対応について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学前後において基本的医学知識の修得が可能となるよう適切かつ確実に指導を実施するとともに、同様の観点から入学選抜試験における時期や実施内容等について、万全を期すこと。 ・「基礎人間生物学」については、授業内容等の更なる充実や、医療系以外の学生に対する確実の履修の指導とともに、英語で実施する観点から、英語と日本語の教科書等を効果的に活用する等の工夫を図ること。 <p>が望ましい。</p>	その他意見	<p>10月入学となることから、4月～10月の期間における事前指導を効率良く実施するため、入学選抜試験を平成26年度中に実施（一部留学生については平成27年度実施予定）し、入学予定者のバックグラウンドや英語力を調査した上で、必要なフォローアップ体制を整えた（実施予定内容は以下のとおり）。</p> <p>【フォローアップ実施内容】</p> <p>入学前に基本的医学知識の修得が可能となるよう、本学熱帯医学研究所が主催する短期間のディプロマコース（日本語で4～6月開講される、本研究科とは別の教育課程：非医療系学生も多数在籍）講義の中から、10月以降における講義の導入となる科目について、Web上での閲覧を認めた（講義配信システムにより入学予定者に限定的に閲覧を可とする）予定であること及び入学後も必要な者は引き続きWeb上での閲覧を認めており、医療系のバックグラウンドを有していない学生へのフォロー体制も十分に整備した。</p> <p>なお、当該ディプロマコースにおいて、本研究科の「基礎人間生物学」を担当する教員が、当該科目の導入となる内容の講義を日本語のテキストを使用し実施しており、Web上で当該導入科目を予め受講することによって、10月以降に英語で実施される講義にも十分対応できる知識を身に付けることができた。</p> <p>(27)</p> <p>また、特にヘルスイノベーションコースにおいては、人文社会学系等を含め、幅広い分野の学生を受け入れることとしているため、選抜試験においては統一的な筆記試験は実施せず、事前に専任教員との協議等を可能とし、それによって作成した研究計画書を基にした面接を実施する等、試験内容についても、医療系のバックグラウンドを有していない学生に対する対応を実施した。(27)</p>	砂原 俊彦
設置計画履行状況 調査時 (28年5月)	該当なし			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教授会にFD委員会を設置 ・ 教授会に各コース委員会を設置し、コース毎に教学を担当する委員を設定（H27.5.1～）。 ・ 教授会に教務WGを設置 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会：開催予定（開催時期については検討中） ・ 各コース委員会：必要に応じて開催している（月1回程度） ・ 教務WG：平成27年度は4回開催（4/9, 6/23, 10/21, 1/19） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会：今後、教員の資質向上の方策を検討予定。 ・ 各コース委員会：各コースにおける、教務、入試、広報等について審議。 ・ 教務WG：専攻全体の教学事項について審議。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新任教員のための研修会（全学実施分） 2) 主体的学習促進支援システムの有効活用について <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1), 2) セミナー形式による実施。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) H28.3 2) H28.7 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>電算化された学習管理を実施し、学生と教員の講義資料や質疑応答が双方向で実施されている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>平成27年度は、12月及び3月に実施（秋季開講のため）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>ホームページにより公開予定。実施については、本学学務システムに授業評価システムを利用。</p>
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むことにしている。
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期 未定
b 公表方法 大学ホームページ上に公開予定
③ 認証評価を受ける計画
次期評価期間内（H27～H33）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成28年6月上旬予定)